就職活動応援特集

東京の水道を支える

東京水道
水道技術本部管路整備部工務課 課長
安孫子 亨さん

■入社のきっかけ

建設会社から旧東京水道サービス（TSS、PUCが合併し2020年4月から東京水道〈TW〉に）に転職し、今年で14年目になります。前職で水道工事を多く施工してきた中で、さらに水道の知識や技術を深めたいと思い、水道専門の企業であるTSSへ入社しました。

これまで出先事業所で配水小管工事の設計や施工管理などの業務を担当しましたが、経験を生かせる場面も多く、また個人ではなく組織一体で同じ事業に向き合い、助け合いながら目標に向かっていく風土には大変心強さを感じています。

今年度から本社で各事務所の管路整備業務を総括・調整する立場となりました。現場からさまざまな問い合わせを受けるのですが、自分の回答がすなわち〝社の見解〟になるという責任を感じながら、これまでとは異なる業務に奮闘中です。

■仕事で感じる嬉しさ

今までの仕事で印象深いのは、設計業務に関する新事務所立上げに携わった時のことです。新規事業に試行錯誤しながら対応し、軌道に乗せたことは大きなやりがいがありました。昨年その事務所に所長として戻った時は感慨深かったですね。

また社内では、「若手を大切に育てたい」「若手に活躍してもらいたい」という気持ちが共有されていることをうれしく思っています。ベテラン社員もいれば私のような中途採用の社員もいますが、ルーツはさまざまでも、皆に共通して浸透していると実感しています。数年前に指導した社員が一人で立派に仕事をしたり、後輩を助けたりする姿を見ると達成感を覚えます。当社は業務の拡大によって社員の採用も拡大していることから、同期も多く、若手社員がたくさんの同期と切磋琢磨している姿はまぶしく、素直にいい環境だなと思っています。

■誇りと強み

当社は、局と当社で構成する「東京水道グループ」の一員であり、東京都水道局のパートナーとして東京の水道を支えています。水道はコロナ禍にあっても、いつ何時も欠かすことのできない最重要ライフラインであり、仕事が止まることはありません。中でもTWは単に一業務を受託、完了して終わりではなく、東京水道グループ、都庁グループの一員として、長期ビジョンをもって首都東京の水道に貢献している強みと誇りがあります。

そしてTWは現在、10年後、20年後に予定される東京都水道局からの営業系・技術系業務の移転という大きな目標に向けて準備を進めているところであり、働きやすい職場環境の整備にも積極的に取り組んでいます。

都の水道運営を共に支えていきたい、公共性と社会貢献度の高い仕事に携わってみたいという皆さんを心からお待ちしています。

製品提案からフォローまで

トーケミ
東日本営業部北関東営業所
矢部 剛史さん

■ろ材とポンプの二本柱

トーケミは、昭和35年に東洋ろ材工業とケミカルポンプが合併して現在の〝トーケミ〟となりました。水処理用ろ材とケミカルポンプの二本柱を中心に、撹拌機、ユニット装置、水処理装置など幅広く水処理に関わる資機材を扱っています。

就職先を探す際に水を扱う仕事とメーカーに憧れがあったため、トーケミを志望しました。なかでも当社は幅広い資機材のラインナップがあるので、多くの知識・経験が得られると思い、入社を決めました。

■用途に合った製品を

今年で入社7年目になります。東京営業部で3年間働いた後、現在の北関東営業所に配属されました。主に製品の提案営業のほかに、見積書等の書類作成、各種打ち合わせ、製品納入後の現場管理を含めたアフターフォローなどの業務を行っています。

製品を受注するためには、できる限りお客さまの元を訪問して説明することが重要だと考えています。その中で、製品をPRしてお客さまの用途に合ったものを提案していかなければならないので、まずは自社製品を誰よりも知ることが必要です。どの業界の営業職も同じだと思いますが、こうして自ら進めてきた案件の契約が決まった時が一番やりがいを感じます。

また、現場によって納入後に営業職がポンプやユニット装置などを試運転することもあり、自分で製品を動かし、お客さまへお引渡しするという魅力もあります。納入後の製品に触れる機会はなかなかないので、トーケミならではの特色の一つだと思います。

■コロナ禍の変化

コロナ禍においてお客さまの元へ訪問しづらくなったことは大きな変化だと思います。対面で話すことを重要視してきたので、戸惑いはありました。その反面、一度の話し合いが重要と考え、打ち合わせの準備をより入念に行うことなどのほか、体調を崩さないよう自己管理の徹底を心掛けています。

現在は、2級管工事施工管理技士の資格取得に励んでいます。こうした現場工事に関わる資格を取得することで、それぞれの現場やお客さまに寄り添った製品紹介ができるのではないかと思います。今後も資格取得とともに、自社だけでなく他社の製品も勉強していき、お客さまの要望に沿ったものを提案していきたいです。

若手・中堅社員が語る

若手の力伸ばす職場環境

東京設計事務所
関西支社プランニンググループ
上下水道第2チーム
高橋 開人さん

■やりがいを感じるハザードマップ作成

私は現在、浸水ハザードマップの作成に携わっています。近年激甚化する風水害において、住民の命を守る対策として欠かすことができないものです。お客さまの要望に応えながら、イラストやデザインを依頼しているたり、わかりやすく見やすいマップを作り上げていく過程は試行錯誤の連続ですが、実際に活用されている様子を想像すると非常にやりがいを感じます。

コロナ禍以前の設計協議や打ち合わせは基本的にお客さまのところへ出向いて行うことが通常でした。しかしコロナ禍の今はウェブが主になっています。当初は対面とは異なる状況にお客さまもわれわれも戸惑う場面が多くありましたが、コミュニケーションをいつも以上に丁寧に取るように心掛けたり、伝え方を工夫したりするなど回数を重ねるごとに感覚を掴んだことで、滞りなく進められるようになりました。

■コミュニケーションで不安解消

私が勤める関西支社は2020年から社員の座席をフリーアドレス化したため、決まった座席がありません。出社してからその日の気分で自由に座席を決めているので、偶然近くに座った誰かとの会話が楽しみの一つになっています。

また当社では在宅勤務の取組みも進んでいることから、私は週2日在宅勤務をしています。在宅勤務を始めた当初は業務の経験や知識がまだまだ浅いことから、一人きりで仕事ができるのか不安なところもありました。

しかし会議ツールの活用によって、上司からアドバイスをもらったり同僚とコミュニケーションを取ったりすることが想像より容易にできたため不安は消えていきました。画面共有や複数人での会議も簡単に始められる便利さもあって、在宅勤務もかなり馴染んできています。

■若手を育てる環境

当社は「若手の力を伸ばすための職場環境作りを心掛けている会社」だと感じます。実際私も向き合って意見を聞いてくれる上司が多いので、業務に関する相談や質問がしやすい環境で働けています。自分を認めてくれる上司がいることで入社してからの日が浅くても自然と責任感を持つことができ、着実に経験を積むことができると感じています。また会社全体でも技術士を取るための講習会や社内での業務発表会を通して多方面からスキルアップが図れるため、将来的なキャリアパスの構築もしやすい環境になっていると思います。

学生の皆さまには、ぜひ会社説明会等に参加していただけたらうれしいです。そしてご縁があれば一緒に仕事できる日がくることを楽しみにしています。

水と環境の創生コンサルタント
NSS 日本水工設計

ずっともっと
水と
ともに。

積極採用中!
インターンシップ受付中
←エントリーはこちら

（公社）全国上下水道コンサルタント協会会員
日本水工設計株式会社
代表取締役社長 本名 元
本社：〒104-0054 東京都中央区勝どき3-12-1
TEL.03-3534-5511 FAX.03-3534-5534
支社：東京・名古屋・大阪・広島・九州
https://www.n-suiko.co.jp

誠実を旨とし
優れた技術者を育て
良い作品を残す

TECグループ

TEC（テーイーシー）
株式会社 東京設計事務所
千代田区霞が関3-7-1
代表取締役会長 亀田 宏
代表取締役社長 狩谷 薫

TECI（テーイーシーアイ）
株式会社 TECインターナショナル
千代田区霞が関3-7-1
代表取締役社長 狩谷 薫